

☆ 誤嚥性肺炎ってご存じですか？ ☆

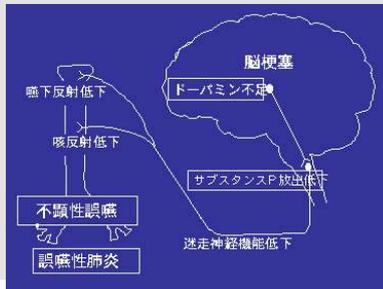
誤嚥性肺炎とは？

誤嚥性肺炎は、細菌が唾液や胃液と共に肺に流れ込んで生じる肺炎です。高齢者に多く発症し、再発を繰り返す特徴があります。再発を繰り返すと耐性菌が発生して抗生物質治療に抵抗性を持つため、優れた抗生物質が開発された現在でも、多くの高齢者が死亡する原因になっています。

誤嚥性肺炎はどうして起こるのですか？

誤嚥性肺炎は、脳卒中や全身麻痺、あるいは麻痺などの症状のない脳梗塞において、神経伝達物質の欠乏によって、咳反射や嚥下反射の神経活動が低下して起こります（資料1）。咳反射や嚥下反射が低下すると、知らない間に細菌が唾液と共に肺に流れ込み（不顕性誤嚥）、この細菌が肺の中で増殖して誤嚥性肺炎が起こります（資料1）。

また、胃液などの消化液が食べ物と共に食道を逆流して肺に流れ込み、誤嚥性肺炎が起こることもあります。



誤嚥性肺炎はどのように治療されるのですか？

誤嚥性肺炎は、肺炎の原因となる細菌を殺菌する抗生物質で治療します。また、胃液を肺の中に吸い込んで肺炎になった場合、ステロイドを短期に用いて肺炎を鎮める場合もあります。さらに、酸素欠乏（呼吸不全）になった場合は、酸素吸入を行います。重症の呼吸不全では人工呼吸器などによる治療も併せて行います。

誤嚥性肺炎は予防できるのですか？

再発予防には、脳梗塞後遺症として使われるアマンタジンや抗血小板作用を持つ脳梗塞予防薬が有効です。これらの治療薬は咳反射や嚥下反射を改善し、脳梗塞を予防して誤嚥性肺炎を予防します。咳反射を亢進させる降圧薬である(1)ACE阻害薬も有効であるという報告もあります。また、歯磨きを毎日して口の中の雑菌を減らしたり、食後に一定時間、座ってもらって胃液逆流を防ぐことも誤嚥性肺炎の予防にとって大切です。さらに、高齢者では、歯ぐきをマッサージしますと、嚥下反射が改善して誤嚥性肺炎の予防に役立ちます。

(1) ACE：アンギオテンシン変換酵素

日本呼吸器学会 HP より

☆ 年末年始の診療のご案内 ☆

年末は12月30日(月)の朝診まで通常の診察とさせていただきます。また年始は1月4日(土)の朝診より開始いたします。

休診期間中も、急病の場合は対応可能です。ただし、通常の診療体制とは異なりますので、必ず事前にお電話をいただきますようお願い致します。



| 2013年 | 12/30(月) | 12/31(火) | | |
|-------|----------|----------|--------|--------|
| 朝診 | ○ | 休診 | | |
| 夜診 | 休診 | 休診 | | |
| 2014年 | 1/1(水) | 1/2(木) | 1/3(金) | 1/4(土) |
| 朝診 | × | 休診 | 休診 | ○ |
| 夜診 | × | 休診 | 休診 | × |

新河端病院 理念

信頼と安心の医療

1. 患者様に感動をしていただける医療を実践します
1. 患者様に選んでいただける病院づくりを実践します

「患者さまの権利」

患者さまには次のような権利があります。私たちはその権利を尊重するような医療を行います。

- ・ 医療を受ける権利
- ・ 知る権利
- ・ 自分で決定する権利
- ・ プライバシーを守られる権利



医療法人 医修会 新河端病院